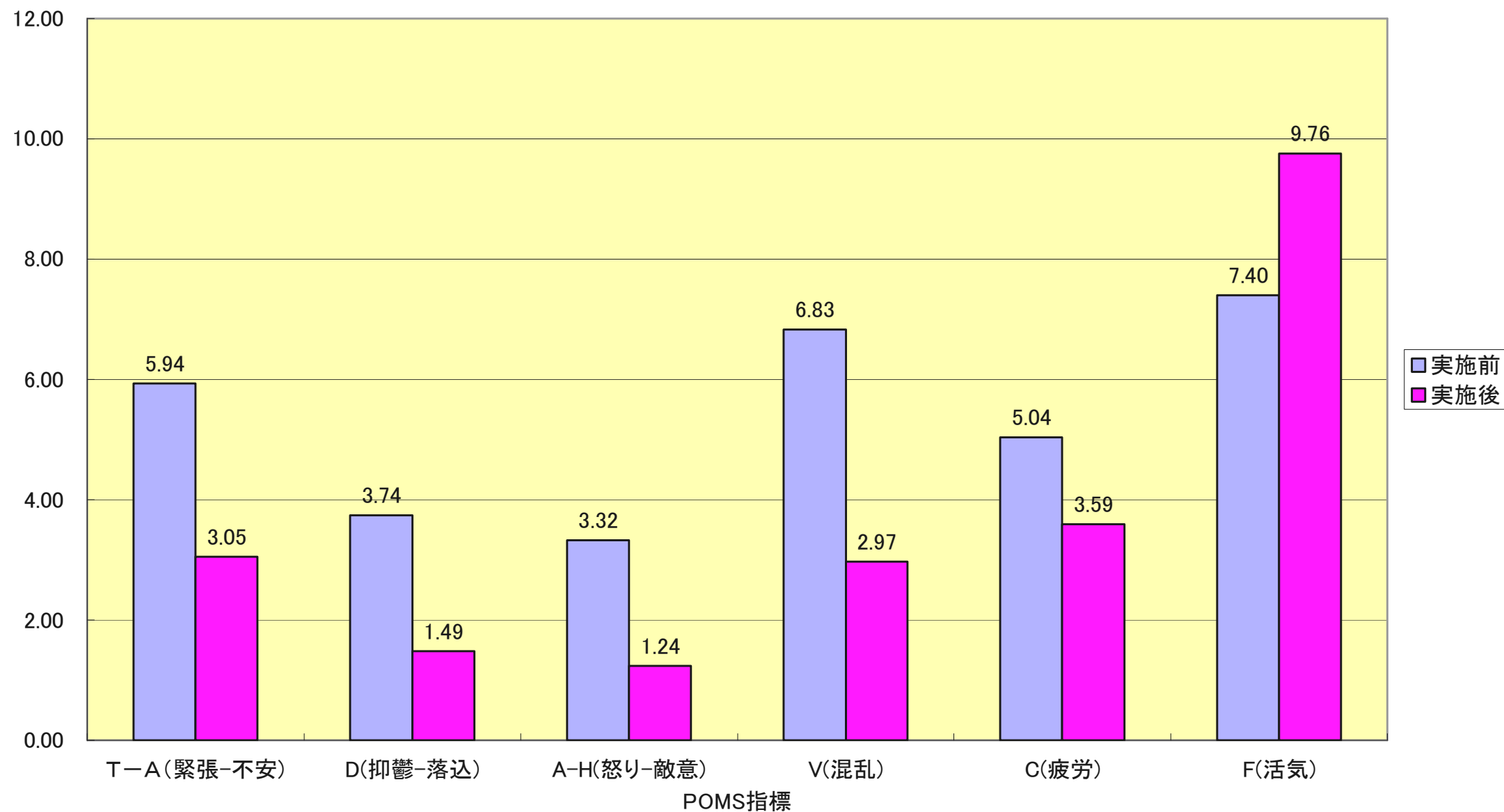


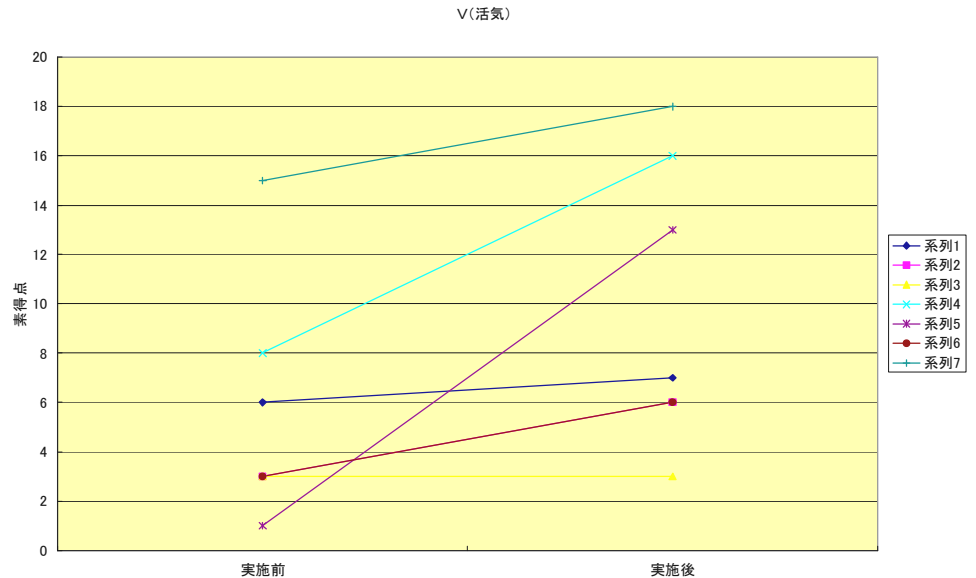
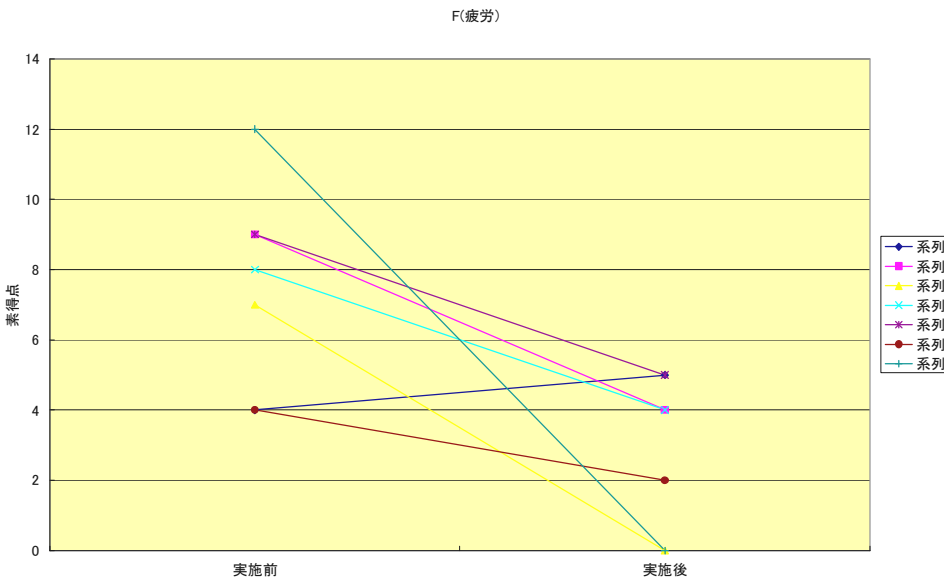
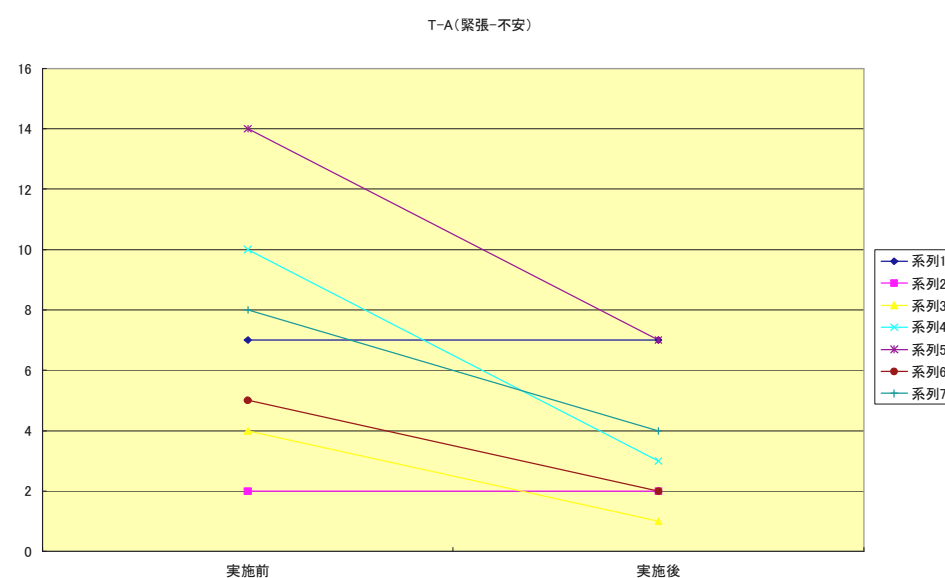
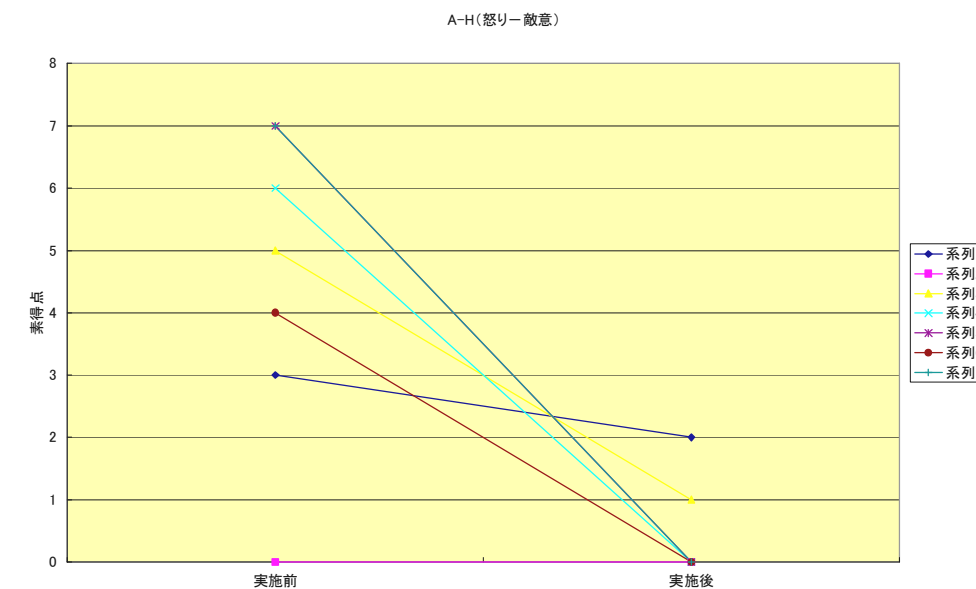
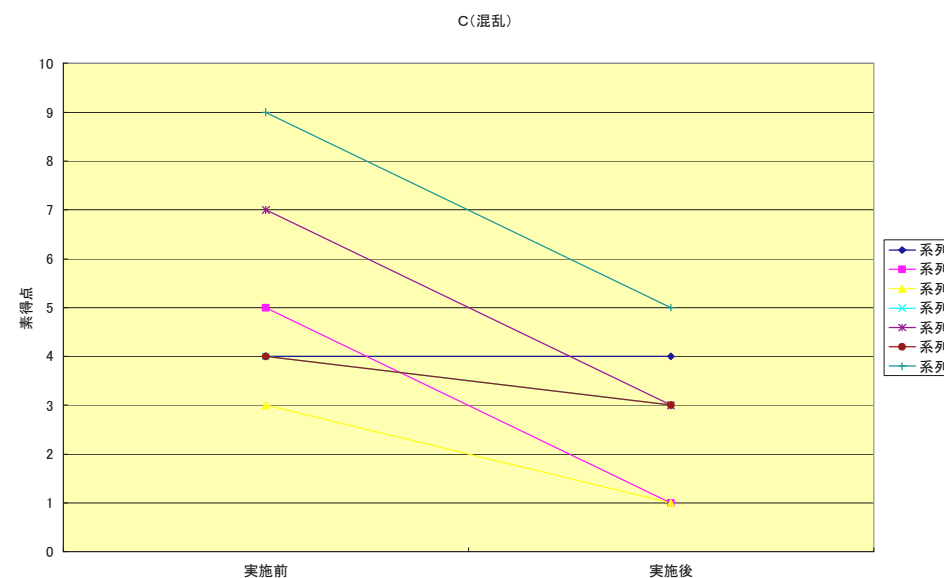
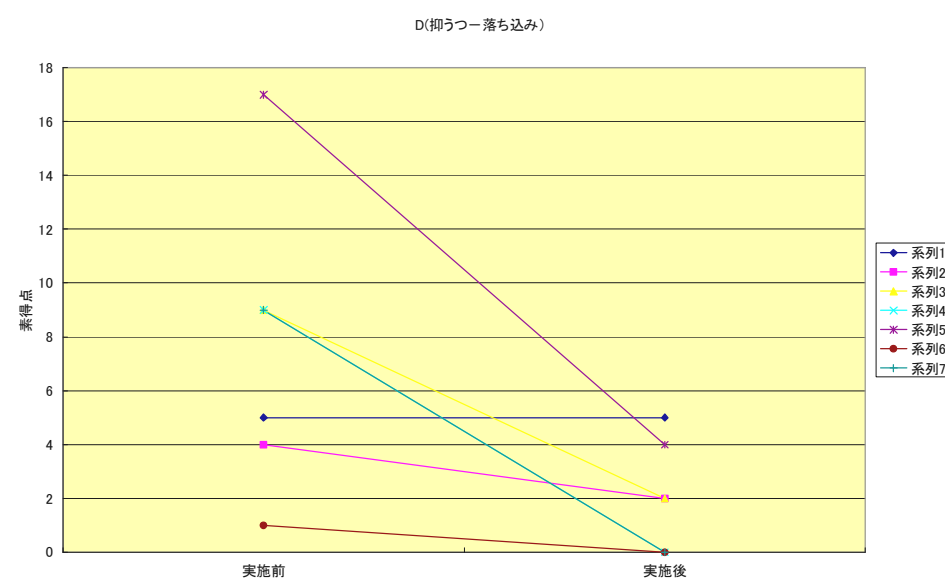
2006年9月 日本芸術療法学会において、当協会理事長 芙和せらが、  
 ~女性の様々なライフステージにおける  
 フラワーハートセラピー（花の芸術療法）の事例報告~ と題し、学会発表を行いました。  
 内容の中から、今回テーマとして取り上げた「メンタルヘルス」の事例をご紹介します。

「フラワーハートセラピー」による気分変化調査

- POMS短縮版を用いて、ワークショップ前と後の気分変化について、検証を試みた。
- 対象者・・・60名（女性58名、男性2名、22歳～62歳）
- 実施日時・・・2006年8月
- 方法・・・6～16名のグループで120分間  
 80～100種類の花の中から自由に選んでそのアレンジメント作成によるグループセラピーを行い、その前後にPOMS短縮版を実施した。

POMS素点比較





① 実施後では、「緊張-不安」「抑うつ-落ち込み」「怒り-敵意」「疲労」「混乱」の気分変化において改善が見られる。

② 実施後には、「活気」の得点に上昇がみられる。

※ 「フラワーハートセラピー」による実施前後の有意差が確認できた。

※ 「一般的なアレンジメント」の作成前後において同様の実験を行ったが、有意差は確認できなかった。

※学会発表後にも継続調査し、確認した資料もございます。詳細は当協会までお尋ね下さい。